

ふみびと

第377号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

遠くを想い 手紙を綴る

支える貢献

子どもの頃に憧れた、サッカーでのゴールや、野球でのホームラン。どのスポーツにもある「花形」と言われる立場や、そのプレーは多分そのスポーツを好きな子どもたちにとっては憧れるもの。今でもやっぱりサッカーや野球を観戦する時にその瞬間は盛り上がるけれど、子どもの頃よりも見るようになったのは、そんな華やかな部分だけではないチーム全体のプレー。ホームランバッターを9

人揃えても、ストライカーを11人揃えても勝てるわけではなく、勝つためにはそれぞれの役割がどれも大事になるものです。時にはホームランバッターが打つこと以外でチームの勝利に貢献すること。高校通算140本ものホームランを打って、アメリカの名門大学に進学した佐々木麟太郎選手は、自室に「貢献こそ活躍」という言葉を掲げて、自身が得意な「ホームランを



打つこと」に捉われず、チームが勝つためのプレーを心がけているそうです。ときには怪我の恐れのあるデッドボールを受けることさえチームへの「貢献」と考える佐々木選手。誰よりもスポットライトを浴びるプレーをできる能力を持つている選手の、チームを支えるプレーを選択する姿勢を見ると「花形」ではない、チームを支える仕事の大切さ

遠さとは何だろう。手を伸ばしても届かない距離にあるものは、人の心にさまざまな感情を呼び起こす。雪化粧した山の稜線を眺めれば、胸の奥に静かな広がり

届かない距離

展望台から眺める遠くに光る夜景に目をやれば、自分の小ささを感じる。近すぎるものばかりを見て、いと縮こまってしまふけれど、

届かない距離

が生まれ、夜空の星々を見上げれば、言葉にならない静かな感動がこみ上げてくる。けれども、同じ遠さが時に寂しさや不安を連れ

それでもやはり、遠さは人にとつて安らぎをくれる存在でもある。海の先に広がる水平線のかなたや、

速さを取り戻す。つい先日の大きな満月も、そんな遠さの中でいつものように輝いていた。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだす。事務局同封下流で宛封まで流す。事務局にのみです。



次回発送日

世の中の多くの仕事は、華やかな仕事というよりは、他の人の仕事や、誰かの生活をひっそりと支えるもの。

次回発送日は9月29日の予定です。送りたいお手紙がある場合は26日までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。これは発送に間に合わせるための目安ですので、ご自身のペースを大切にしてください。

感想・体験談

そして今何気なくしている小さな仕事でも、どこかで誰かの役に立っている、そう思うと少し丁寧な仕事に取り組めるような気がします。

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂きたいです。方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報伏せした上でご紹介させて頂きます。